

平成 28 年度第 9 回経営会議概要

- 1 開催日時：平成 29 年 1 月 13 日（金）9:00～9:20
- 2 開催場所：プレゼンテーションルーム
- 3 議事概要：以下のとおり
（●議題提出部局説明・回答、☆意見・質問）

議題 1 三重県行幸啓等本部組織の設置について

●中川課長補佐【秘書課】（資料 1 に基づき説明）

第 27 回全国菓子大博覧会・三重が開催されるが、名誉総裁三笠宮彬子女王殿下の開会式等への御臨席に伴い、平成 29 年 4 月 20 日から 21 日の 1 泊 2 日で三重県にお成りいただく予定である。

「三重県行幸啓等本部組織」設置について、設置要綱（案）と本部組織図（案）をご覧いただき、今後各班においてお願いする業務へのご協力をお願いしたい。視察先は、総合博物館と相可高校で宮家と調整に入ったため、関係課を「御視察・駐車場班」に加えた。本日本部設置を了承いただいたら、1 月中に担当者会議を開催する予定である。お成りについては、現時点で非公表のため情報管理をお願いしたい。

（質疑等なし）

議題 2 県単独補助金にかかる指標の設定について

●下村課長【財政課】（資料 1 に基づき説明）

経常的支出の段階的引き下げにつなげるため、予算編成時における見直しの参考指標として、県単独補助金に「効果指標」を設定する。「効果指標」は平成 29 年度事業分から設定することとし、当初予算編成の議論等も踏まえ、平成 29 年 8 月中を目途に目標項目と目標数値を確定させる予定である。各部局には 3 月頃に正式に依頼する予定としているのでご協力をお願いしたい。

議会には平成 29 年 2 月定例会月会議において事前アナウンスを行い、目標項目・目標数値（案）は、9 月定例会月会議、最終案は平成 30 年 2 月定例会月会議で公表する予定としている。

☆水島観光局長

この対象には負担金は含まれないのか。

●松下班長【財政課】

名称で区別するのではなく、県に裁量のあるものを対象としている。

☆水島観光局長

この記載ではわからないので修正してもらいたい。

議会へ報告するとあるが、元々行っている補助金条例に基づく議会への報告との整合性はどうか。

●下村課長【財政課】

補助金条例に基づく報告は、補助金に関する使途の透明性の確保などを目的に行っているものであるが、今回の指標の設定はあくまで庁内の経常的経費の見直しを目的に行うもので、議会への説明のために行うものではない。

☆水島観光局長

職員の負担が過度にならないよう簡便な形としてもらいたい。

●紀平総務部副部長

原則としてすべての補助金を対象とするものであるが、職員の負担を考慮し一部省略できるようにした。対外的に補助金の効果を説明するため活用していただきたい。事務的な負担軽減には配慮する。

☆服部地域連携部長

施策や基本事業の目標があるなか、その手段の一つである補助金に指標を設定することができるのか。職員の負担も相当なものになることが想定される。モデル的に具体的なものを示してもらいたい。また、戦略企画部との調整も必要であると考えられ、実施するにしても慎重に行ってもらいたい。

☆西城戦略企画部長

当部からも事務的に指摘をしている。一点は対外的なものとして、成果レポートとの整合性、もう一点は内部的なものとして、事業評価との整合性である。スマートサイクルの中でできないのかということも考える必要がある。

●紀平総務部副部長

補助金は、事務事業のうちのいわゆる細々事業であり、施策等にどれだけ貢献しているのかが適切に評価されてこなかった部分があることから今回取り組むもの。事務事業の進行管理のためではなく、果たして補助金に意味があるのかということを検討するために行うものである。オールインワンシステムとの整合性や職員の負担が過度にならないように配慮するが、基本的にこのような形で行いたいと考えている。

☆西城戦略企画部長

集中取組をどのように説明するのか、その中で県単補助金についてどう説明するのかということも含めて示してもらいたい。

戦略企画部としても総務部と協議していきたい。

☆渡邊副知事

内容については練られていない部分もあるが、財政的には必須の取組であると考えている。
総務部と戦略企画部でよく調整すること。